

Process

ボールができるまで



Nittaku NECO'S ※NECO'S=Nittaku × eco

NECO'S(ネコス) ボール工場
(茨城県古河市)

【環境への取り組み】

- 太陽光と雨水の利用
- 廃水を完全浄化しての、プラスチック海洋汚染対策
- 緊急時の対応】
- 太陽光からの蓄電池の利用
- 雨水の利用
- 研磨水の浄化再利用
- ゲリラ豪雨を地下貯水槽に溜めての利用、緩やかな排水



Complete!

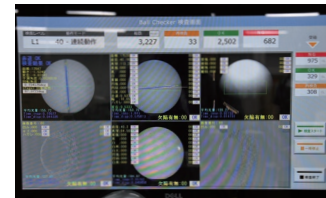
7 印刷

3スター、トレーニング球、ラージなど、ここでボールの顔を印刷する



5 検査

暗闇の中でボールにライトを当てる光学機器で細かい汚れや傷、サイズ、弾み、真球度、色を1分あたり30個単位でチェックする。一項目でもNGが出た場合は出荷に至らない



厳しい検査をクリアしたボールだけがユーザーの手元に届けられる

4 重量選別

規格内の重量となっているか、千分の一g単位で測定する。重すぎた場合は、3の工程に戻る



上からボールが落ちてきて、Aに入れば合格。B〜Dは3の工程に戻り、Eは規格外で不合格となる

3 研磨・洗浄

表面がツルツルな状態のため、研磨石と一緒に回転させることで、磨き上げてツヤを消し、重さを均一にしていく。また、接合部分を平らにする



接着が完了。研磨前のツルツルのボール



研磨石とともに回転させて研磨する

1 射出成形①

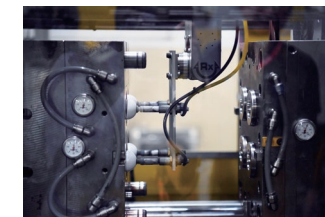
ボールの素材となる米粒大のペレットを熱で溶かして金型に流し込み、半球を作る



素材のペレット

2 射出成形②

半球同士を接着する。プレのない真球を作る上で要となる工程



射出成形された半球

日本製ボールはすべて茨城県古河市にある工場で、年間1440万個を製造しています。
“互いに行きかうボールの性能が低くってはならない。性能差があってもいけない”その信念を胸に、プレーヤーが本来の力を発揮できることを最も優先し、妥協することなく日々ボールづくりに励んでいます。

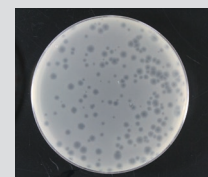
お手入れ方法

清潔な布で乾拭きしてください。
汚れが付いた場合のお掃除は中性洗剤を使用して水拭きしてください。

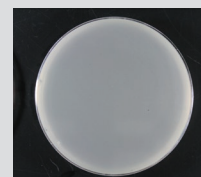
ウイルスの主要感染経路の「接触感染」のリスクを軽減!

試験の結果、500Luxの明るさの環境下で、メディカルナノコートを塗布した表面では、99.9%以上のウイルス減少率を確認しました。

▶第三者機関
抗ウイルス性能試験(JIS R1756)



加工無し



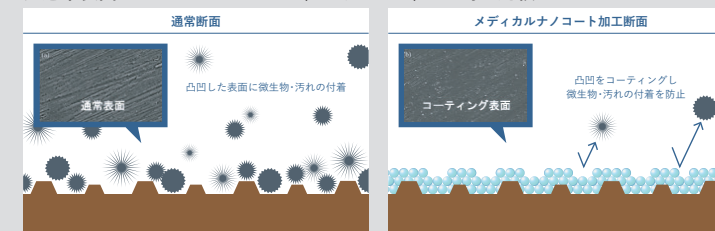
メディカルナノコート

- ・試験機関：地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
- ・試験名：バクテリオファージを用いた抗ウイルス性能評価試験
- ・試験品名：ナスクナノテクノロジー社メディカルナノコート
- ・試験品の種類：メディカルナノコートを塗布したガラス板
- ・試験規格：JIS R1756: (ISO 18071:2016)を参考

どんな加工技術ナノ?

粒径10ナノメートル未満のシングルナノの様々な機能性無機材料を均一にコーティングする独自技術により、表面を清潔に保つ抗ウイルス・抗菌コーティングです。(第三者機関による、長期間の効果実証データ有り)

▶通常表面とメディカルナノコート(シングルナノ)加工時の比較



クリーンな環境で卓球を楽しんでもらいたい!

ニッタクが採用した抗ウイルス・抗菌加工
シングルナノ複合粒子コーティング

メディカル
ナノコート